

佐伯 勇 (1903~1989)



プロ野球オーナー。実業家。周桑郡田野村(現、西条市)出身。愛媛県立松山中学校(現、県立松山東高等学校)を経て第三高等学校(現、京都大学)に合格。大正15(1926)年に、東京帝国大学(現、東京大学)法学部を卒業した。

昭和2(1927)年、大阪電気軌道株式会社(現、近畿日本鉄道株式会社)に入社後、駅などの現場の仕事を経て、44歳で専務取締役、4年後には社長に就任。座席指定の特急や世界初の2階建電車を走らせるなど、新しいアイデアを生かした経営を進め、デパートやホテル、旅行業などにも取り組んだ。大胆さと慎重さを兼ね備えた勇は、近畿日本鉄道を日本屈指の大企業に育てた。また、大阪商工会議所会頭時代には、関西財界代表として中華人民共和国を訪問し、日中国交回復の足がかりをつくった。

一方、プロ野球球団・近鉄パールス(現、オリックス・バファローズ)のオーナーを設立時から務め、チームの強化とパ・リーグの繁栄に情熱を傾け、平成2(1990)年、野球殿堂入りした。

略 歴

明治36(1903)年3月25日	周桑郡田野村に生まれる。
大正15(1926)年3月	東京帝国大学法学部卒業
昭和2(1927)年7月	大阪電気軌道株式会社に入社
昭和19(1944)年6月	近畿日本鉄道株式会社が設立され、上本町営業局次長となる。
昭和22(1947)年4月	近鉄の代表取締役専務就任
昭和24(1949)年12月	プロ野球球団・近鉄パールスが誕生し、オーナーとなる。
昭和26(1951)年12月	近鉄の代表取締役社長就任
昭和42(1967)年4月	近鉄野球株式会社取締役就任
昭和46(1971)年3月	大阪商工会議所会頭就任
9月	訪中関西財界代表団団長として中華人民共和国訪問
昭和48(1973)年5月	近鉄の代表取締役会長就任
昭和62(1987)年6月	近鉄の代表取締役相談役名誉会長就任
平成元(1989)年10月5日	86歳で永眠
平成2(1990)年	野球殿堂入り

(写真提供：佐伯記念館)

〈関連図書〉

- ・『近鉄バファローズV1へのあゆみ 球団三十年史』 近鉄野球株式会社 1980年
- ・佐伯勇『運をつかむ 事業と人生と』 実業之日本社 1980年
- ・神崎宣武『経営の風土学 佐伯勇の生涯』 河出書房新社 1992年
- ・軒上泊『君よ日にあらたなれ 鉄路を走り続けた男』 中央公論社 1998年

〈ゆかりのある場所〉…(P319, 224)

〈関連施設〉…佐伯記念館・郷土資料館

〒791-0508 愛媛県西条市丹原町池田1711番地1 TEL: 0898-68-4610

野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL: 03-3811-3600

大阪企業家ミュージアム

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町1-4-5 大阪産業創造館地下1階

TEL: 06-4964-7601